

国の「自然共生サイト」認定取得について

今年度から国が開始した自然共生サイト認定制度において、「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林が、全国で初めての環境大臣認定を取得した。

1 自然共生サイトについて

(1) 自然共生サイトの概要

「自然共生サイト」とは、令和4年12月の生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された、2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を保全する新たな目標(30by30目標)の達成のために、環境省が令和5年4月から開始した制度であり、「(自治体を含めた)民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている」と国が認定した区域。

対象となる区域としては、自然観察の森、里地里山、都市内の緑地・公園などが例示されている。

(2) 認定制度の概要

- ・ 申請主体 土地所有者または土地管理者（企業、団体・個人、自治体）
- ・ 認定基準 管理権限、生物多様性の価値（場、種、機能）、保全効果など
- ・ 認定スキーム 申請 ⇒ 有識者審査（書類審査、ヒアリング） ⇒ 大臣認定
今年度の申請受付は前期（4～5月）と後期（9～10月）の2回
- ・ 認定の期間 5年間（5年ごとに更新が必要）

(3) 令和5年度前期の認定状況

- ・ 認定サイト数 122サイト（宮城県内では本市の1件のみ）

2 認定取得地の概要

- ・ サイト名 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林
- ・ 場所 若林区荒浜字南官林、宮城野区岡田字砂原
- ・ 面積 3.28ha（仙台海浜鳥獣保護区内）
- ・ 所有者 仙台市
- ・ 管理者 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議（事務局：百年の杜推進課）
- ・ 概要 東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた東部地区一帯のみどりを市民協働により再生している。市東部沿岸部は震災前からハヤブサやオジロワシ、サシバなどの猛禽類を始め、多様な生物が生息する地域であり、また「杜の都」仙台における、防潮・防災、環境教育のほか震災の記憶や歴史文化の継承など生態系サービス提供の場となっている。

3 認定取得の周知等について

- ・ 記者発表、せんだい環境Webサイトたまきさん、環境局公式 Instagram、市政だより 12月号等で認定取得を広報した。
- ・ J-GBF（2030 生物多様性枠組実現日本会議。事務局：環境省）地域連携フォーラム、（一社）日本環境アセスメント協会の講習会などで事例紹介を行っている。

4 今後の取り組みについて

- ・ 当該認定地について、引き続き認定取得や保全の取り組みなどの情報発信に努めるとともに、イベントによる生物多様性の啓発や、自然共生サイトの認知度向上などにも活用していく。
- ・ 今回の認定取得で得られた知見を活かしながら、多様な主体による認定取得を促進していく。



図1 位置図